

1	審議会名	図書館協議会
2	日時	平成 28 年 12 月 16 日 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
3	会場	上田情報ライブラリー
4	出席者	佐々木会長、大塚副会長、山崎委員、小竹委員、加藤委員 中西委員、北沢委員
5	市側出席者	山崎館長、飯島館長、山口次長、土屋次長、木嶋次長、金田係長、嘱託職員内山、土屋係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	3 人 記者 人
8	会議概要作成年月日	28 年 12 月 16 日

協議事項等

1 開 会

2 上田図書館長挨拶

前期から引き続きの委員さんには、図書館基本構想素々案など丁寧にご審議いただきました。新委員さんには、新たな目線で貴重なご意見をいただきたい。

いろいろな図書館の視察をさせていただく中で、新たな発想と取組で、大勢の方に図書館を利用させていただく工夫をしていかなければならないと考えている。

エコールの対象人口は、21万1千人でありエコール全体の貸出数は約97万冊です。97万冊の60%にあたる58万4千冊を借りているのは、全体の2.19%の人で、年間69冊以上借りている人である。エコール全体の貸出数の80%(78万冊)を借りている人は、全体の4.07%の人である。年間35冊以上借りている人である。100人のうち4人で支えているのがエコールの図書館である。みんなの図書館にしていかなければならない。

大きな課題はありますが、上田市の図書館は変わったといわれるようなご意見をいただき、活かしていきたいと考えている。2年間よろしく願いたい。

3 委嘱書交付

図書館長より委嘱状の交付と図書館協議会についての説明。

4 自己紹介

図書館協議会委員自己紹介

事務局自己紹介

5 会長・副会長選任

立候補、推薦がなく、委員から事務局で会長・副会長選任案をお願いしたい。との意見があり事務局案を提示し、会長に佐々木委員・副会長に大塚委員の就任について了承される。

会長・副会長あいさつ。

6 協議事項

(1) 上田市の図書館について

(事務局)

上田市の図書館全体の現況について、資料に沿って説明

利用者カード登録者数が極端に減少している理由は、利用者カードの更新制度により、登録者数が、実数に近づいてきているため。

(委員)

情報ライブラリーには来館者をカウントするものがあるのか。

(事務局)

情報ライブラリー入口正面にカウントする機械がある。

丸子図書館・真田図書館のように IC タグ化されているところではゲートがあるので、貸出処理されていないものはブザーがなるようになっている。ゲートによりカウントされる。

(委員)

ゲートは出たり入ったりすると、カウントされてしまうのか。

(事務局)

カウントされる。

(委員)

学校の学習指導要領が改正され、読書が重要な役割を担っている。地域でも支えていかなければならないし、推進活動を進める上で、学校連携は重要な要素である。モデルケースになるのではないかと。学校連携は何年度ごろから行っているか。また、エコールでの学校連携の実績はあるのか。

(事務局)

実績はあるが、今手元に資料がないので後日回答したい。

(委員)

移動図書館車の利用の推移はどうか。充実させていっていただきたい。

(事務局)

微妙に減少している。次回データを示していきたい。

(2) 各図書館の状況について

上田図書館、上田情報ライブラリー、丸子図書館、真田図書館状況説明

(委員)

利用者カードの更新制度により、利用者カードの登録率は、人口の3割に減っているが、3割というのは少ないと思うが、図書館としてはどう考えているのか。

(事務局)

3割というのは少ないと考えている。登録者数を増やしていかなければならない。登録している人の約4割の人しか利用していないことを考えると、登録をしている人の中で、利用を増やすことも必要である。課題は大きいと考えている。

(委員)

子どもの人数も少なくなっている。少子高齢化も影響しているのではないかと。

(事務局)

人口が少なくなっても、登録率には影響がないと思われる。貸出数には影響する。今年度、丸子図書館・真田図書館は貸出数が減っていないが、上田図書館は減っている。理由を分析中である。

(委員)

丸子図書館・真田図書館は登録者数が減っているが、貸出数は落ちていないがどうしてか。

(事務局)

利用者カードの有効期限を設けたことで、登録者数が実数に近づいてきている。登録者数の動向と貸出数がどう関係してくるかは、今後2～3年の間にはっきりとしてくる。原因も見えてくるのではないかと考える。

(委員)

登録者の年齢層はわかるのか。年齢層でどの年代が減少しているのか。

(事務局)

システムでも出せるかと思うが、利用者アンケートでも、上田図書館は年配層が多いなどの傾向がみられる。年齢層の登録者数・年齢層の利用者数については、後日回答したい。

(委員)

図書の選定・図書の購入はどうしているのか。図書館の職員が選定しているのか。選定委員はいるのか。

(事務局)

図書の受入の方法には、新刊図書のカタログ本の中から幅広く購入、地元の書店の見計らいの本の中から購入、出版社が持ってくる、年数回のブックキャラバンの本の中から購入、寄贈図書の受入などがある。

図書館の職員が選定している。利用者のリクエストの中からも選定している。館長を含め、図書係りの職員で最終的には決めている。

(委員)

小中学生がもっている学校図書館のカードは利用できるのか。

(事務局)

学校内で利用できるカードとエコールの利用者カードとは別である。学校は、公共図書館の本を学校回送により借りることができるが、学校の本は公共図書館には貸し出さないことになっている。

(委員)

情報ライブラリーの「ことばのまゆホール」には音響の専門家はいるのか、いなければ職員を養成する考えがあるのか。

(事務局)

当初、市民のつどいの場としての設定であり、コンサートだけでなく、多目的用途を考えてのスペースである。小さいホールなので、本格的なホールとしての機能を充実させる考えはない。

(委員)

真田図書館は、中学生から読書に関する情報発信をしてもらっているということだが、学校が近いので交流があると思うが、その辺の工夫はどうしているのか。中学生の利用に反映されているのか。

(事務局)

年度当初、学校図書の先生との打ち合わせ会議をし、本の貸出等について、話し合っている。2階の児童コーナーの掲示板に、学校図書の先生と生徒さんの作成した広報誌等をはってもらっている。学校図書の先生の行来が多く真田図書館の司書とも頻繁に打ち合わせを行っている。

中学生に利用してもらうように、地の利を活かし中学校のそばに建設した経緯がある。中学生は放課後など多く利用している。

(3) 平成28年11月22日答申の内容について

答申の内容である基本構想素々案の図書館の施設整備・図書館運営について説明

(4) その他

(委員)

連絡をメール配信などにはどうか

上田図書館が雨漏りのため、書架を移動させていたが、図書館としては大変なことだと思い、市長への手紙も書いた。上田市としては、どう考えているか。

今後の会議の予定どうなるか。

(事務局)

連絡方法については、パソコンへのメールはできるが、携帯電話へは難しいと思われる。検討させていただきたい。

雨漏りについては、早急に業者に修繕を依頼した。市長への手紙は、庁内の関係部署での検討内容を参考に回答されるので、もうしばらくお待ちいただきたい。

今後の予定は、例年の会議回数の、年2回の範囲で行いたい。

(事務局)

1月27日(金)に県外の図書館へ視察研修を計画している。